

# オリンピックレガシーロード

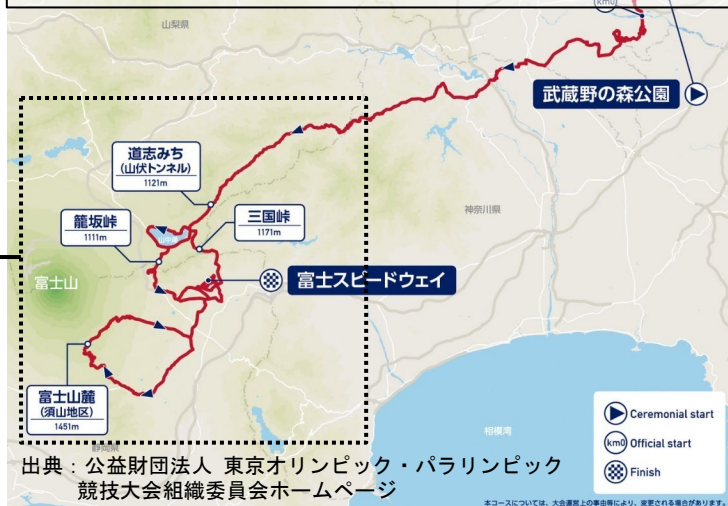


○ 東京2020オリンピックの自転車競技ロードレースコースをレガシーとして活用した広域サイクリングルートを整備し、首都圏から富士山エリアへのサイクリストの誘致とともに、地域の活性化につなげる。

やまなし自転車活用戦略会議・地域部会（富士北麓・レガシーロード部会）

- ・ 地域における取組の強化を図るため、市町村や民間（関連団体）等と連携、及び連絡調整や情報共有、意見交換等を行うことを目的に設置。
- ・ メンバー（学識経験者、NPO、民間企業、観光団体、商工会議所、サイクリングチーム、行政等）

東京2020オリンピック自転車競技ロードレースコース  
 総距離： 男子 約244km 女子 約147km  
 獲得標高： 男子 約4,865m 女子 約2,692m



出典：公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会ホームページ

## 快適で安全安心にサイクリングができる環境の整備

- 自転車通行空間整備
  - ・ 矢羽根等の路面表示を用いた自転車走行位置の明示
  - ・ 注意喚起法定外標識の設置
  - ・ 舗装の打ち換え
- 案内看板の整備
  - ・ 自転車用の案内誘導法定外標識の設置
- サイクリングロードの整備
  - ・ 山中湖を1周できるサイクリングロードを整備



▲路面表示 (イメージ)



▲案内看板 (イメージ)



▲山中湖サイクリングロード  
↑山中湖村HPより

## サイクルツーリズム推進のための取組

- サイクルサポートステーションの設置
  - ・ 沿道に公共施設、民間施設を活用したサイクルサポートステーションを設置
- 沿線景観の整備
  - ・ ビュースポットの整備（案内看板、ベンチ、カメラ・スマートフォン台等の設置）
- オリンピック開催記念整備
  - ・ モニュメント等の設置
- イベントの開催
  - ・ オリンピックのレガシーレースとして山中湖サイクルクラシックを2019年より開催
- ルートマップの作成
  - ・ サイクリングルートマップを作成、配布
- ロードレースコースのPR動画の作成
  - ・ オリンピック開催を契機としたコース沿線のPR動画の作成、配信
- ホームページやSNSを活用した情報発信
  - ・ 山梨県および関連市町村のホームページやSNSでサイクリング関連情報を発信



▲サイクルサポートステーション ↑道志村HPより



▲山中湖畔（ベンチ）



▲東京2020大会イベント

↑山梨サイクルネット構想 富士北麓地域計画書より



▲PR動画（山梨県）



凡例  
 自転車走行空間整備状況  
 青線 R4.12月末時点整備済(約102km)  
 静岡県側整備延長 L=55km  
 山梨県側整備延長 L=47km  
 赤線 R5年度以降整備予定(約14km)

全長約116km  
 (山梨県側約49km、静岡県側約67km)